

## 学校自己評価・関係者評価結果公表シート

学校法人伊勢学園  
双 康 幼 稚 園

## 1. 本園の教育目標

本園では教育の不易と流行の部分を見極めて、きめ細かい教育の実践に努めます。  
特に「あそび」を通して人間関係づくりや、自己実現のあり方を学び、共生の基礎的な能力を育成し、成長させたいと願っています。  
知的欲求に応え「わかった」「できた」という「まなび」の喜びを体験させ、知的発達を促す教育を進めます。また、美しい自然に触れたり、飼育・栽培の活動を展開したりして、情動体験を重ね、豊かな感性を育てる教育活動を実践します。  
知育・徳育・体育に加え特色ある園独自の完全給食活動から「食育」にも力を注ぎます。

## 2. 令和5年度重点的に取り組む目標・計画

教師はこれまで「何かを教える人」という一方的な立場でしか捉えられませんでした。が、価値観が多様化し「正解のない社会」「予測困難な時代」を迎える今そして未来、子どもたち自身が考え、判断し、行動できる力をつけてあげる事が必要です。ただ、急に何もかも子どもたちに判断を任せるのではなく、教師はクラスのリーダーとして子どもたちの様子をしっかりと見て判断し、「園児の可能性を伸ばし」、予測困難な時代を強く生きることのできる人づくりに努める。

## 3. 評価項目の達成及び評価

※(A-充分、B-やや十分、C-やや不十分、D-不十分)

評 価 項 目	取 組 評 価
【教員の力量向上】 「質の高い教育」とは「園児の可能性を伸ばす」と捉え知識や技術を身に着ける為の研修や学びを行う。	研修会で得られた知識やスキルを日々の保育の中で実践し、子ども達の反応を見る事で自分の学びを深めることができた。研修会に参加する機会に、他園の取り組みも知ることができ参考にすることができた。【評価-A】
【適切な環境構成を心がける】 「園児の可能性を伸ばす」環境づくりに努める。遊びを含めた教育活動が展開しやすい環境を整える。	感染症対策にも留意しながら、子ども達の活動目的に沿った環境設定に心がけた。子ども達の自由な発想や行動が発揮しやすい環境を意識しながら準備を整えた。【評価-B】
【家庭との連携】 新しい教育要領の中にもある「幼稚園と家庭の連続性」の確保のため保護者との連携に努める。	バス停やお迎え等の際に保護者とのコミュニケーションのほか「連絡帳」を活用して、家庭での様子や園での様子を共有することによって保護者との信頼関係を深めた。【評価-A】
【行事への適切な取り組み】 行事における達成感を通して主体性や自立心、自己肯定感、自尊心を醸成する。	子ども達の興味・関心、やる気を引き出せる導入をしっかりと行い、計画的に進め、達成感を感じられる行事運営を心がけた。夏休みや冬休みの期間に行事計画や準備を進めることにより余裕をもって行事实施にあたれた。【評価-A】
【食物アレルギーへの対応】 食物アレルギーを持つ子どもへの対応と他の子どもたちへの理解についての取り組み。	アレルギー児への対応は厨房担当者と連携を取り合い事故なくすすめられた。アレルギー児以外の子ども達にも紙芝居などを活用して理解を深められた。教職員の協力で「楽しい食事」の園目標につながるように努力した。【評価-A】

<p><b>【通園バスの安全運行】</b> 運転手と添乗教員が協力をして事故のない安全運行に努める。</p>	<p>バス運行前の欠席連絡等の確認をしっかり行い、子ども達の乗降の際の人数確認には十分注意をした。運行後の車内の確認も忘れることなくできた。子ども達にはバスの中でのマナーを伝え、落ち着いて乗車する態度や環境を作れた。【評価－A】</p>
<p><b>【学年の枠にとらわれない協力】</b> 日常の活動の中で教員同士が密接に連携し合い、学年の枠を意識しない協力体制の確立。</p>	<p>日々の放課後、週末の会議の中で担当学年の子どもだけでなく気になる子どもについて情報を共有したり、保育・指導方法について相談している。様々な行事においても学年の枠を超えて協力することができた。【評価－A】</p>

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価

<p>新型コロナウイルスへの対応が緩和され、園の教育活動や行事も感染予防措置を講じながら、少しずつ以前の形に戻りつつあります。その中で、私たちは「園児の可能性を伸ばす」ことを目指し、日々の保育活動に力を入れて取り組んできました。子どもたちが主体的に考え、行動できる環境を整えることに重点を置き、日常の保育や行事を進めてまいりました。成果はまだ十分に現れていませんが、引き続き取り組んでいきたいと思えます。</p> <p>また、登降園にバスを利用する園児について、降ろし忘れなどの事故を防ぐため、出欠席連絡の確認や園児の点呼に十分な注意を払い、事故防止に努めました。</p> <p>「質の高い教育」を提供するためには、教職員の研修を通じて知識とスキルの向上を図ることが不可欠です。今後も、研修に積極的に参加し、この研修で得た知識やスキルを実践に活かし、子どもたちの可能性をさらに伸ばせるよう努力していきたいと考えています。</p>
--

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 り 組 み 方 法
<p>将来様々な困難や問題を自分の力で乗り越える力の土台となる「自己肯定感」を高める</p>	<p>日々の保育・教育活動の中で、子ども達が興味関心を持つ事を自己選択し、自ら取り組む環境を作る。その結果の達成感や満足感を的確に評価することで自信をつける事により自己肯定感を高めるようにする。</p>
<p>教職員の力量向上の為、各種研修会で得られた知識・スキルを実践する</p>	<p>各種研修会に参加する事により、知識とスキルを学ぶ事ができるが、その得られた知識やスキルを実際の保育現場で実践する事により、子ども達も教職員も成長するように努める。</p>
<p>I C T機器を活用した確実で効率的な教育環境作りを実施する</p>	<p>園児の出欠管理用として導入した i P a d を活用した出欠管理により、能率的で間違えのない日々の園児管理を実施する。I C T機器の活用により、時間を効率的に使い、子ども達と直接関わる時間を大切にする。</p>

#### 6. 学校関係者評価委員会の意見

<p>新型コロナウイルスへの対応が緩和されましたが、感染対策に気を配りながらの活動は大変だったことと思います。そんな中でも、園の雰囲気は明るくのびのびとしていて、先生方も生き生きとしていました。おかげで、子どもたちも保護者も安心して楽しく幼稚園に通うことができました。</p> <p>行事もコロナ以前のように戻り、子どもたちの成長をしっかりと見守ることができ、保護者としても一緒に楽しむことができました。家庭との連絡も、急ぎの連絡はメールで、行事のお知らせは園日より、個々の子どもの様子については連絡帳でと、状況に応じて適切に連絡を取り合うことができ、とても良かったです。</p> <p>また、英語の時間を子どもはとも楽しみにしており、家でも英語を話したり、歌ったりして、その発音に驚かされます。給食も美味しいようで、子どもたちが毎日喜んでます。</p> <p>園の施設についても、トイレの改修や安全対策（バスの降ろし忘れ防止装置の設置など）を随時進めていただき、安心して子どもの教育をお任せできる環境だと感じています。</p> <p>先生方も研修会などでしっかりと勉強をされているようで、子どもたちを安心して預けることができます。これからも引き続き、子どもたちの成長を中心に考えていただき、安全で質の高い幼稚園教育を続けていただけることを願っています。</p>
---